

活動案内 2012

「子供の森」計画

in パプアニューギニア



子どもたちが学校や地域で苗木を植えて育てていく活動を通して「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。パプア・ニューギニアではニューブリテン島の学校を中心に多くの子どもたちが参加し森の大切さや生物多様性の重要性を学びながら成長しています。

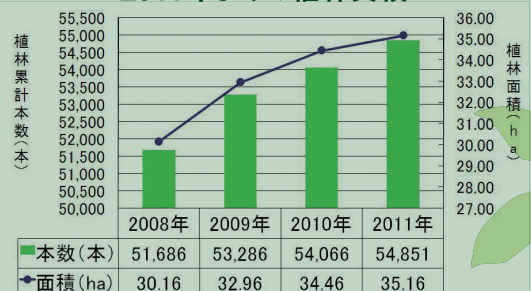


2011年の活動

- 2011年は11の学校で重点的に植林活動や環境教育を実施（植林785本・面積0.70ha）
- 新しく4つの学校で「子供の森」計画が始まりました！
- 生物多様性を学びながら植林を行う世界的なアクション「グリーンウェイブ」に13の学校が参加しました

「子供の森」計画参加学校数(1994年からの累計値)：41校

2011年までの植林実績



パプアニューギニア



- ◆人口：6,497百万人（2010年IMF推計値 日本は127,594百万人）
- ◆面積：46万2千km²（総務省統計局資料2008年値 日本は37万8千km²）
- ◆一人当たりGDP：1,712 US\$（2011年9月IMF試算値 日本は45,774 US\$）
- ◆森林率：63%（2010年FAO公表値 日本は69%）
- ◆「子供の森」計画積極展開地域（丸印）：ニューブリテン島ならびに周辺の島々



パプアニューギニアの活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

→ 「子供の森」計画情報提供サイト www.kodomonono-mori.info



ベルマークや書き損じはがきも募集しています。ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

事務局



公益財団法人
オイスカ

〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12
☎ (03) 3322-5161 ☎ (03) 3324-7111 E-mail oisca@oisca.org
<http://www.oisca.org/>



湧水を守るために「子供の森」計画スタート

森の再生は大切な湧水を
未来の子どもたちに残すこと!

ヴナイリマ小学校はガゼル半島にある小さな学校です。学校のすぐ横には自然の森と湧水があります。この湧水は、飲み水や農業、水浴びなどに使われていて、子どもたちや村の人々の生活に欠かせません。暑い日には太陽の光がキラキラと反射してもきれいで、子どもたちは歓声を上げながら水あそびを楽しみ、涼んでいます。

学校は、この湧水を守るために、「子供の森」計画への参加を熱望していました。学校とオイスカでいろいろなアイデアを出し合い、2011年についてスタートしました。6月の世界環境デーに植林をしたり、オイスカのスタッフによる環境劇などを通じて地球上で人間や生物が生きるためには木が大切な役割を担っていることを子どもたちへ教えるなど、積極的に活動を展開しています。

「植林は子どもたちだけでなく村人たちに必要な湧水を

守ってくれ、さらに、減少している村の自然の再生にもつながり、とても感謝しています」と校長先生。湧水の周りに、いつも子どもたちや村人たちの笑顔が溢れるように、これからも植林を続けていきます。



飲み水や水浴びに欠かせない湧水



地球温暖化への気づき

木を植えて地球温暖化から
ふるさとを守っているよ

ビラ小学校はココポ地域にあり、周りにはココナッツやカカオのプランテーションが広がっています。近年、新聞などのメディアに地球温暖化がよく取り上げられるようになり、自然災害が世界のいたるところで起こっていることが話題になっていますが、この学校の地域も例外ではありません。大雨で土壌崩れが起こったり、川が氾濫したり、自然災害がいくつか起こり、プランテーションや人々の生活にも被害が出てしまっています。

ビラ小学校の子どもたちは「子供の森」計画に参加し、地球温暖化について学び、なぜ自分たちの地域で被害が起こってしまったかを知りました。そして、学校の周りにもっ

と植林をして、環境を守っていくことで、将来、これらの災害を防ぐことへ繋がることに気づきました。

コーディネーターは、子どもたちが楽しみながらも気づきを促すプログラムの実施を心がけ、自らの手で木を植育てることで、木の恩恵を感じ、木を大切に守っていきたいと思う、子どもたちの気もちも育てています。植えた木々の成長と、これからの子どもたちの成長が楽しみです。



子どもたちに様々な気づきを与えるプログラム



植林開始!みんなで苗木を選びました

TOPICS

火山の大噴火を乗り越えて

セントレオスヤワカ小学校はラバウルから近く、火山地帯から約6kmのところにあります。1994年の火山の大噴火のときは、この学校の教室やグラウンドそして建物も被害に遭い、火山灰で周りは砂漠のようになってしまいました。

しかし、その後、「子供の森」計画で子どもたちが植林を積極的に行ったこともあり、学校や地域に少しずつ緑が戻ってきました。5年前に植えた木は今では大きく育ち、子どもたちは木陰で勉強や遊びを楽しんでいます。

これからも子どもたちとともに、この地域のふるさとの緑の回復を進めていきます。



今年も学校に木を植えました